

2019年度 活動報告

四季山遊会事務局

四季山遊会の活動理念

- ・初心者やこれから登山を始めようと思う人たちが安心して飛び込める会であること。
- ・自然に対する優しさや畏れの気持ちを忘れず、フィールドでのルールやマナーを守り、安全登山を最優先に考えること。自然保護活動にも積極的に取り組みます。
- ・会の運営はボランティアによるものとし、無理のない範囲での運営を行うこと。

1.2019年度 活動報告

各地域ごとの企画回数・参加人数です。カウントは山行のみです。
このほかにTM・懇親会に45名、15周年記念イベントに57名の参加がありました。
2019年度は、12名(男性4名・女性8名)の方が新しくメンバーに加わりました。

※()は新メンバー

鹿児島会

回数	男性	女性	合計
4	19	30(1)	49
3	13	15	28
0	0	0	0
1	5(1)	7	12
2	15	17	32
2	6(1)	14	20
3	14	17(1)	31
4	21	25	46
2	6	16	22
1	1	7	8
1	6	13	19
3	11	27	38
26	117(2)	188(2)	305(4)

2018年度

回数	男性	女性	合計
3	16(1)	28(1)	44
2	9	10	19
1	5	5	10
1	6	6	12
1	9	10	19
1	4	10	14
2	9	16	25
2	10	13(1)	23
2	16	5	11
3	13(1)	15	28
1	5	9	14
0	0	0	0
合計	19	86(2)	128(2)

2019年度

福岡会

回数	男性	女性	合計
3	14	20	34
2	10	25(2)	35
1	5	12	17
2	15(2)	16(1)	31
1	9	5	14
1	5	3	8
1	7(2)	5	12
3	15(2)	21	36
2	5	12	17
3	17(1)	25(2)	42
2	14(1)	17	31
2	17	23	40
26	133(8)	184(5)	317(13)

2018年度

回数	男性	女性	合計
2	8	6	14
2	14	21(3)	35
0	0	0	0
0	0	0	0
3	14(1)	18	32
1	6	10	16
2	6(1)	15	21
2	13	15(1)	28
2	8	14(1)	22
3	17	22	39
3	12	21(1)	33
0	0	0	0
合計	20	103(2)	147(6)

2019年度

1.新型コロナウイルスの感染拡大が全国に広がり、会の活動も当面休止することになり、2002年3月の企画は中止となりました。

2.福岡会・鹿児島会合同企画(10月俵山、11月石鎚山)はそれぞれに企画回数をカウントしています。

2.2019年度 会計報告

全体事務局	レンタルサーバ・レンタルフォーム代、会議費、メンバー保険料、15周年記念行事補助
バス	運転手諸経費、車検、任意保険、自動車税、タイヤ組み換え・修理費、燃料代・高速代、バス月極駐車場代
各事務局	15周年記念行事補助、事務消耗品代、備品代、会議諸経費、下見費用など

※一般会計報告書・15周年記念行事会計報告書をご希望のメンバーは事務局まで連絡ください。郵送させていただきます。

3.15周年記念イベントの報告

台風17号の影響でギリギリまで心配された15周年記念イベントでしたが、57名の方にご参加いただき、無事祝賀会を開催することができました。

遠方から参加いただいた旧サポーターの皆さん、お忙しい中この日を楽しみに参加いただいた皆さん、また、参加できずとも各地からお祝いやメッセージを送ってくださった皆さん、たくさんの方に15周年を祝っていただき、ありがとうございました。

祝賀会当日の台風17号通過で、翌日の俵山山行は実施できず熊本観光となりましたが、益城町の祝賀会会場ホテルでは熊本地震当時の様子をお聞きし、被災地の皆さんのご苦勞を改めて知ることができました。被災した熊本城の修復の様子も見ることができ、意義のある観光だったと思います。

15周年という節目の年を迎え、これまで以上に安全な山行を心がけ、初心者が安心して飛び込める会を目指してまいります。

なお、今回15周年を記念して、会のロゴワッペンを作成いたしました。

祝賀会に参加できなかったメンバーの皆さんには、企画参加の際にお渡しします。

4.新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中で感染拡大防止のための対策に追われています。ワクチンや薬が開発され安定して供給されるまでの間は、ウイルスと共存していくほかないようです。

今後の活動について

登山のフィールドは野外で、三密の少ない環境にあります。
個人登山については、それぞれが感染防止と安全を心がけながら積極的に行っていただければよいと思います。
しかし、グループ登山に関しては登山口までの移動や登山道や山頂での密集など課題もあります。
会の活動を再開するうえで、制約もあると思いますが、工夫しながら少しずつ進めていきたいと思っています。

今後のウイルス感染症の状況にもよりますが、少なくとも年内は以下の方針を共有したうえで、地域の状況に合わせて徐々に活動を再開します。

- ・県をまたいで登山はできるだけ控える
- ・登山道や山頂で密集を避けられるような山選びをする
- ・山やその周辺地域にルールがある場合は配慮する
- ・グループは前後の間隔を空けてもリーダーが把握できる人数(5~6名程度)とする
- ・下山後の温泉や買い物施設などへの立ち寄り避ける
- ・集合は原則現地集合とする

今は地元の里山や自然に親しみ、ひっそりとしたマイナーな低山を見直す機会かもしれません。

日ごろから体調管理を十分に行い、具合が悪い場合は無理な参加は厳禁です。

登山中・休憩中・ランチタイムは、密接にならないように間隔を取りましょう。

現地までの移動手段に関しては、ボランティア車の提供者・利用者、両方のリスクを考えると、会としてボランティア車を積極的に推奨することはできません。移動手段のない方にはご不便をおかけすることもあるかもしれませんが、企画の際には山選びなどで工夫していければと思っています。

新型コロナウイルス感染症の現状をご理解いただき、また大勢で山登りする日を楽しみに皆様のご協力をお願いします。

今は、一歩ずつでも会の活動をつないでいくことが大事だと思っています。

5. バス廃車の件

バスの老朽化により修理費用の支出増に加えバス運行回数減による収入減のため、近年バス運営が非常に厳しい状況でした。

今回のコロナ禍で、乗車時の感染リスクを考えるとバス運行のめどは立たず固定費を捻出するだけとなり、このままバスを維持することは困難です。一昨年タウンミーティングでも皆様にご相談しておりましたが、バスを廃車することとしました。

5月末、登録抹消手続きは完了しています。

6. メンバー表ホームページ掲載廃止の件

サポーターの作業軽減のため、2020年度からメンバー表のホームページ掲載を廃止します。

2020年度 事務局サポーター

全体事務局	代表	武藤 尚子		
	副代表	小倉 一哲		
	会計サポーター	田中 暁子	樋口 景子	
	HP管理サポーター	武藤 尚子		
	バス管理サポーター	武藤 尚子		
	名簿管理サポーター	井手 公子		
	受付担当サポーター	武藤 尚子		
	保険サポーター	石井 久美子	下唐湊 睦美	
鹿児島会	リーダー	小倉 一哲	吉野 清美	橋野 美誉子
		福永 涼子		
福岡会	リーダー	武藤 尚子	寺井 紀義	石田 弘章
		田中 暁子	上田 博文	古賀 泰久
		平山 龍源		

”一人はみんなのために、みんなは一人のために ”

四季山遊会は、初心者や今から山歩きを始めようと思っている人が安心して参加できるような会であるよう安全登山に努めます。フィールドでのルールやマナーを守り、自然保護活動にも積極的に取り組んでいきます。